

〈特集〉

二十歳を祝う会

1月11日（日）にカノラホールにて二十歳を祝う会が開催されました。

式典のようすと、二十歳の若者の声をお伝えします。



天候が心配されるなか、式典開始前は一時的に雪もやみ、久しぶりに会う同級生とにぎやかに交流する姿が見られました。



今年の式典には、令和7年度に二十歳を迎える498人のうち、345人のみなさんが出席しました。二十歳のみなさんの代表として、松川莉一さんと田村滯さんによる司会で式典は進行し、岡谷市民憲章唱和の後、二十歳の代表として江島葵さんと杉田歩夢さんが「誓いのことば」を述べ、二十歳の決意を語りました。後藤茂之衆議院議員、吉田浩市議会議長から祝辞をいただき、「中学校の恩師からのビデオメッセージ」や「思い出アルバム二十年間のできごと」、また、岡谷市出身の岡谷市観光大使 市川笑野さん、市川右田六さん、総合格闘家の伊藤空也さん、連携協定を結んでいるVC長野トライデンツの選手たちからのお祝いと激励の映像が披露され、会場に笑顔があふれるなごやかな式典となりました。

お祝いの
ことば



夢と希望に満ちあふれ、人生の大きな節目となる二十歳を迎えられた皆さん、本日は、誠におめでとうございます。次世代を担う皆さんが、心身ともに健やかに成長され、無事に新たな門出を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。また、これまでわが子の成長を陰ひなたから温かく見守り、支えてこられました保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げますとともに、ご多用の中、ご来賓の皆様をはじめ、関係各位のご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この二十歳を祝う会は、皆さんが一人の大人として自立し、社会の仲間入りを自覚するための大きな節目となるものであります。これまで、深い愛情で支えてくださったご家族や友人、温かく見守ってくださった地域の方々など、関わった多くの皆様に対し感謝の気持ちを忘れずに、社会の中で大きく羽ばたいてほしいと思っております。

現在、皆さんはそれぞれの夢に向かって邁進（まいじん）されていることと思います。変化の激しい社会経済情勢のなか困難や壁にぶつかることもあると思いますが、若い力と勇気をもって、臆することなく何事にも果敢に挑戦し、自分の夢に向かって大きく踏み出してください。結びに、これからの人生におけるご活躍とご多幸を心から祈念申し上げまして、式辞といたします。

岡谷市長

早出一真



集う

誓いの

ことば

二十歳代表 江島葵さん

私たちは本日、二十歳という人生の大きな節目を迎えました。この節目は、単に年齢を重ねることではなく、大人として自らの生き方と向き合い、社会と真摯に関わっていく第一歩でもあると受け止めています。

これまでの歩みを振り返ると、家族の温かい支えや先生方のご指導、地域の皆様の見守りの中で、多くの経験を積み重ねてきたことを実感します。日々の暮らしの中で当たり前だと思っていたこと一つ一つが、多くの方々の支えによって成り立っていたのだと、今改めて深い感謝の気持ちを抱いています。

二十歳となった私たちは、社会の一員としての自覚と責任を求められる立場になります。これからは、自分の言動や選択に責任を持ち、周囲の立場や思いに目を向けながら行動していかなければなりません。失敗を恐れるのではなく、その経験を学びへとつなげ、自らを省みながら成長していく姿勢を大切にしていきます。また、大学に入学し、



岡谷市民憲章とは、岡谷市民が郷土を愛し、自らのまちを住みよい豊かなまちとするために、市民の手によって作られた「まちづくりの基本理念」であり、まちづくりの根幹となってきたものです。

式典では、4人の代表者がステージに立ち、客席の仲間とともに唱和を行いました。市民憲章が、これからの人生を照らす道標になることを願います。

市民憲章

折言



代表の4人。左から、宮澤愛さん、アディさん、金森由紗さん、カンティさん

※全文より抜粋

二十歳代表 杉田 歩夢さん

本日、二十歳という人生の大きな節目を迎えましたが、私たちは決して一人でここまで歩んできたわけではなく、家族や学校の先生方、地域の皆様など、多くの方々の存在に見守られながら、今日の日を迎えることができたのだと、改めて実感しております。特に、私たちが中学3年生であった2020年、新型コロナウイルスの感染拡大により、文化祭や修学旅行、日々の学校生活など、当たり前であったはずの日常が失われました。高校生活も、思い描いていたものとは大きく異なるものとなりました。そのような困難な時期を乗り越え、今、こうして何気ない日常を取り戻すことができてるのは、家族や学校の先生方をはじめとする多くの方々のご理解とご協力があったからこそだと思っております。

打ち込みたいという思い、そして中学時代から続けてきた吹奏楽を大学でも続けたいという強い気持ちから、進学を決意いたしました。将来についてはまだ模索している段階ではありますが、多くの選択肢を持つよう、日々努力を重ねております。そのような環境で学ぶことができて、両親の存在の大きさを日々実感しているからこそです。これからは、これまで関わってくださったすべての方々への感謝を忘れることなく、二十歳としての自覚と責任を持ち、行動してまいりたいと考えております。

ここに集う皆さんも、大学や専門学校で学んでいる方、社会人として歩み始めた方など、それぞれ異なる道を進んでいると思いますが、これまでの歩みを支えてきた環境への感謝を胸に、社会に貢献できる大人へと成長していきたいと思います。

結びに、このような素晴らしい式典を準備してくださった関係者の皆様、そしてご多忙の中ご臨席を賜りましたご来賓の皆様に、二十歳を迎えた私たちを代表して、謹んで御礼申し上げます。以上をもちまして、誓いの言葉とさせていただきます。

※全文より抜粋



岡谷市民憲章

緑と湖につつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。

自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

仕事に誇りを持ち、豊かな産業のまちをつくります。

昭和46年7月1日制定



未来へ 羽ばたく

二十歳のキモチ！

会場を盛り上げてくれた司会の二人への「インタビュー」

市民憲章唱和の代表を務めたみなさんと

会場で出会った人たちからの「ひとこと」

「将来の夢は何ですか？」



宮澤 愛さん
市民憲章唱和代表



金森 由紗さん
市民憲章唱和代表



花岡 佳祐さん

キモチ

Q4

キモチ

Q3

キモチ

Q2

キモチ

Q1

小学校から高校まで音楽に打ち込み、数々の演奏会で立ったカノラホールは、仲間との楽しい思い出や努力の日々が詰まった大切な場所です。そんな思い出の場所で「二十歳を祝う会」を迎えられることを、とてもうれしく思います。

岡谷での思い出を教えてください。

保育の現場でさまざまな経験を積み、得意な楽器や歌を生かした自分らしい保育を通して、子ども一人ひとりの得意なことが広がるきっかけを作ってあげられるような保育士になりたいと思います。

5年後の自分の姿を想像してください。

小さい頃からお祭りが大好きで、いまも木やりをやっています。将来の夢でもある保育士をしながら、地域の行事やお祭りに積極的に参加して、次の代に伝統を伝えていくことです。

将来の夢は何ですか？

神社やお寺を参拝しながら旅をして、さまざまな種類の御朱印を集めたり、おいしいものをたくさん食べたいです。

二十歳になってやってみたいことは？



司会 田村 澤さん



カンテイさん

市民憲章唱和代表



アデイさん

市民憲章唱和代表



宮澤 心寧さん



小口 優さん



滝澤 萌菜美さん



平出 凜さん

日本語検定
N1合格
する!

お金もちになるぞ!

素敵な
管理栄養士になる!

強く
生きろ!!

ずっと
笑顔でいる!

幸せになる!

司会

松川 莉一さん



キモチ

小学6年生のとき、クラスで、「岡谷のうなぎ」について調べ、PR活動を行ったことです。実際にうなぎ店にも行き、「こんなに焼くんだ...」としみじみ感じながら、間近で見させていただきました。

Q4

岡谷での思い出を教えてください。

キモチ

長野県のどこかの学校で、働いていると思います。授業はもちろん、学級経営なども大変だと思いますが、さまざまな経験を通して、今より何倍も成長している姿でありたいです。

Q3

5年後の自分の姿を想像してください。

キモチ

教師です。父、従兄弟ら、家族や親戚で、教育現場で働いている人が多く、その姿を見て、「教える」っていいなと思い、この道を選びました。

Q2

将来の夢は何ですか？

キモチ

一人暮らしです。いまま実家で暮らしているので、ゆくゆくは親元を離れて、自分で生活できるようになりたいです。

Q1

二十歳になってやってみたいことは？